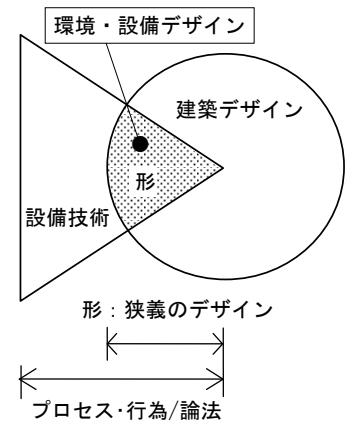


応募要項

1. 趣旨

建築に於ける環境・設備技術の役割は一段とその重みをましており、建築のデザインに対して、設備機器や設備システムのデザインが大きく関与していることが明らかとなっています。環境・設備デザインは、建築設備分野において従来あまり意識されることのなかった審美性などの「感性」に関する要素に焦点をあて、これに「機能性」「経済性」と環境問題も視野に入れた「社会性」を加えた4つの評価軸により、総合的かつ客観的な評価が可能と考えます。環境・設備デザインに的確で客観的な評価が広く一般社会に公開され、認知されることが望ましいと考えます。そのために優秀な「環境・設備デザイン」に対して賞を贈って表彰することを趣旨とします。



2. 部門構成

I. 設備器具・システムデザイン部門

汎用性のある設備器具・設備機器・設備システムで、審美性・機能性などに優れたデザインを対象とする部門

- ①一般的に利用される設備器具・設備機器などのほか専門家が扱う機器、器具など設備システムを構成する要素を含む。
- ②電気設備・空調設備・給排水設備・防災設備などの設備システムで機械室や裏方に設置されるものを含む。

II. 建築・設備統合デザイン部門

設備機器、設備システムが調和的、機能的に、主として単体の建築の中に統合化されているデザインを対象とする部門

- ①設備機能が建築空間の中に統合的に計画されたもの。
- ②設備機能を建築的な工夫で隠蔽したもの或いは建築的に設備機能を果たしているもの。
- ③通常隠蔽されている設備システムを意図的に露出させたもの。
- ④太陽光・風力・雨水などの自然エネルギー・資源を建築的に活用したもの。

III. 環境デザイン部門

地域に適合した自然エネルギーや資源の利用、面的なエネルギーの利用、建築とランドスケープの調和、都市空間や広場の提案など、より広がりのある環境やエネルギーのデザインを対象とする部門

- ①光や風などの自然エネルギーや地元産材の利用などその地域に適合したエネルギーや資源の利用に取り組んだもの
- ②地域の広がりの中で効率的にエネルギーを利用するスマートシティなどの取組み
- ③自然環境と調和したパッシブデザインなどの他、自然環境の保全や回復に取り組んだもの。
- ④公園や緑地など都市環境、まちなみ、地域環境の向上に面的に取り組んだもの。
- ⑤従来にない新しい環境デザインに挑戦したもの

3. 賞構成

上記3部門ごとに最優秀賞、優秀賞、入賞、BE賞を選定し表彰します。

4. 応募作品

2014年末までに竣工した建築物、設備、またはこれに類するもので、本顕彰制度の趣旨に沿ったものであることとします。

5. 応募資格

対象とする施設・設備の発注者、設計者、施工者、製造者、管理者などで、その環境・設備デザインの創出に関わった個人又は会社・団体などとしてします。

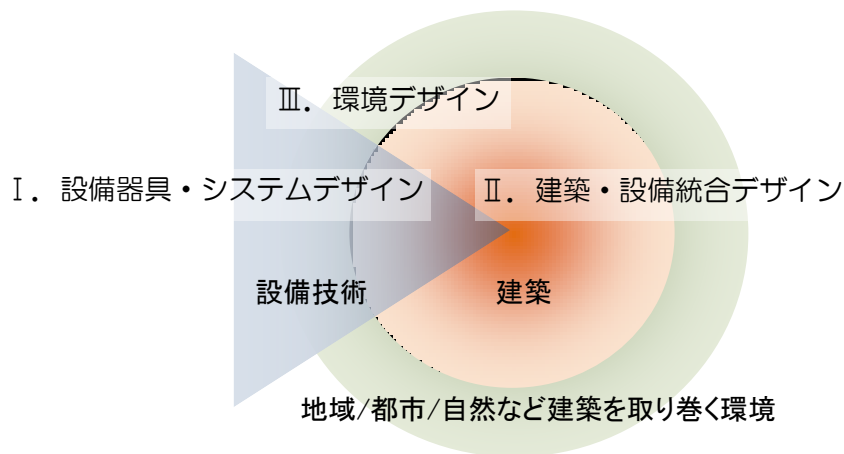
6. 著作権

応募作品の著作権は応募者に属します。ただし、作品を主催者や後援、協賛社、協力団体などで公表、発表する場合には、応募時点で応募者の承諾を得られたものと致します。

応募作品に使用する素材（写真・文章）についての著作権・著作権は、応募者自身が応募時点までに許諾しておいていただく必要があります。

例えば、最優秀賞、優秀賞や入賞作品は当協会ホームページへのアップ、雑誌（「BE 建築設備」「新建築」等）、新聞、各種報告書などに転載する場合があります。その際に写真などの著作権使用料やクレジットの記載について写真家と協議をしておく必要があります。

【環境・設備デザインの部門構成概念図】



応募方法

1. 応募方法

1) 応募登録申込書

規定の応募登録申込書（別紙-①）に必要事項を記載し、紙（〈A4〉×1枚）または電子データで提出してください。

応募登録申込書は、ホームページからダウンロードしてご使用ください。

2) 環境・設備デザインの説明パネル及び評価表

2) -1 説明パネル

別紙-②のフォーマットに習い、施設概要/環境・設備デザインの意図/施設を説明する写真/評価表/その他説明資料をレイアウトしてカラーパネル（展示しますので市販のフレーム付、必ず吊りネジもつけて組立ててください。ネジ式でない場合は展示できません。）で提出してください。

本年応募作品は、主要部分について英文の併記をお願いします。（別紙-②参照）

〈A1〉×1枚（縦使い）カラーパネルとその縮小版〈A3〉×1枚の紙及びPDF等の電子データも提出してください。

2) -2 評価表

別紙-③のフォーマットに習い、自己評価を行い、紙（〈A4〉×1枚）及びEXCELデータで提出してください。

評価表は、ホームページからダウンロードしてご使用ください。

※応募登録申込書提出後キャンセルされる場合は、必ず事務局へ連絡してください。

※応募作品は原則として返却いたしません。返却希望の場合は、事務局にご相談ください。

※提出する電子データのメディアは「CD」に限定させていただきます。

2. 応募者の制限

1部門ごとに1件/1代表応募者とします。共同応募者は、同一部門であっても複数の応募を可とします。

3. 応募期間

応募登録申込み : 2015年10月1日から11月20日

説明パネル・評価表の提出締切り : 2015年12月18日（消印有効）

4. 受付方法

受取書を発行します。

5. 問合せ/提出先

（一社）建築設備総合協会「環境・設備デザイン賞」実行委員会事務局 担当：三澤

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館6階

TEL:03-5445-4266 FAX:03-5445-4272

Eメール：LEMO4305@nifty.ne.jp

建築設備総合協会ホームページ <http://abee.or.jp/>

【環境・設備デザインの説明パネル〈A1〉×1枚縦使い】レイアウト参考例

環境・設備デザインの名称 Title(Project name)		応募者名 Applicant	
作品の概要 (Project Summary) ※数行の英文解説 (English commentary of a few lines)	作品の写真 (Photograph)		
環境・設備デザインの解説 (Design Concept)	対象とする設備の設置状況がわかる周辺を含めた中景写真 (Photograph(Whole image))		
機能性を説明する資料 (Functionality)	評価表 (自己評価) Environment & ME Design Evaluation Criteria(Self-evaluation)		
社会性を説明する資料 (Sociality)			
経済性を説明する資料 (Economics)		レーダーチャート Radar chart	
第14回環境・設備デザイン賞 Environmental and Equipment Design Award 2015			

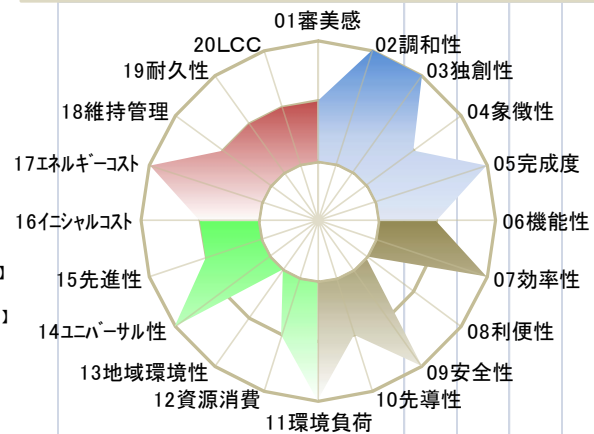
- 環境・設備デザイン評価表《評価の手順》
- ◇評価除外項目
- ① 特に重視したデザインの視点に☆印を記入してください。
 - ② 評価項目毎に設計者のデザイン意図を記入してください。
 - ③ 評価項目毎に自己評価欄に“○”を記してください。本表では、仮の評価が記載してありますが無視してください。
 - ④ 対象作品に関し、評価が困難な「評価項目」は網がけをして評価から除外してください。
 - ⑤ レーダーチャートは参考で示してあります。

□評価項目	□特に重視したデザインの視点	□評価項目に対する設計者のデザイン意図 (従前のデザインに比較し、優れている部分、卓越している部分に関して具体的に記述してください。)		□自己評価欄		
		普通	優れている	卓越している	小計	
		0	+1	+2		
A.感性軸(造形) Form	01審美感 ☆		○		1	
	02調和性 ☆			○	2	
	03独創性 ☆			○	2	
	04象徴性		○		1	
	05完成度			○	2	
B.機能軸(技術) Technology	06機能性 ☆		○		1	
	07効率性			○	2	
	08利便性 除外				0	
	09安全性 ☆			○	2	
	10先導性			○	1	
C.社会軸(環境) Environment	11環境負荷 ☆			○	2	
	12資源消費		○		1	
	13地域環境性 除外				0	
	14ユニバーサル性			○	2	
	15先進性			○	1	
D.経済軸(LCC) Life Cycle Cost	16インシヤルコスト		○		1	
	17ランニングコスト ☆			○	2	
	18維持管理 ☆			○	1	
	19耐久性			○	1	
	20LCC			○	1	

■評価項目の解説

- 01審美感【色や形・素材が感覚的に美しいと感じられること。】
- 02調和性【周辺環境・建築意匠と一体化し融合していること。】
- 03独創性【模倣ではなくデザイン面で独自の創造的工夫が見られること。】
- 04象徴性【設計者のデザイン意図が象徴的に表現されていること。】
- 05完成度【美しさや調和の面からデザインの完成度が高いこと。】
- 06機能性【求められる機能や性能が充足されていること。】
- 07効率性【エネルギー効率やシステム効率が優れていること。】
- 08利便性【使いやすく目的に合っていること。】
- 09安全性【安全で危険がなく健康な環境を形成すること。】
- 10先導性【機能面で新たなデザインの方向性を示すこと。】
- 11環境負荷【資源やエネルギーの消費を抑制し地球環境に負担をかけないこと。】
- 12資源消費【パージン材の使用を抑制し、再生材及び再利用可能材を使用していること。】
- 13地域環境性【地域の歴史や文化を尊重するとともに、周辺環境への影響を抑制していること。】
- 14ユニバーサル性【デザインや機能が年齢や性別・国籍を越えて通用すること。】
- 15先進性【デザインに新たな価値観に基づく先進性が認められライフスタイルの変革を促すこと。】
- 16インシヤルコスト【機能とコストのバランスが取れていること。】
- 17ランニングコスト【エネルギー・資源コストが従来品より安価なこと。】
- 18維持管理性【維持管理が容易であること。】
- 19耐久性【耐久性が高く長く使用できること。】
- 20LCC【総合的にライフサイクルコスト抑制できること。】

■ A.感性軸(造形) ■ B.機能軸(技術) ■ C.社会軸(環境) ■ D.経済軸(LCC)
Form Technology Environment Life Cycle Cost



審査方法

1. 審査

(1) 予備審査

実行委員会は、応募登録申込書・説明パネル・評価書をもとに提出書類に不備がないかどうか、本顕彰制度の趣旨に合致しているかどうかを確認して推薦作品として第一次審査に推薦します。

(2) 第一次公開審査（2016年3月9日）

実行委員会からの推薦を受け、環境・設備デザイン審査委員により第一次審査を行います。

推薦作品は建築会館ホールにおいて公開展示し、同時に審査員により入賞作品を決定します。入賞作品の中から第二次審査でプレゼン対象となる作品（各部門より合計15点前後）を選定します。作品応募者が第一次審査会に来場されている場合、審査委員から内容についての質問に対して回答することができます。また、パネルのみの審査となりますので作品見本等は持参展示できません。

(3) 第二次公開審査（2016年4月15日）

優れた作品を社会一般に広く認知されることが本顕彰制度の趣旨であり、第二次審査も一般公開審査とします。審査は、第一次審査で入賞した作品の応募者によるプレゼンテーションを行い、最優秀賞、優秀賞等を決定します。当日、作品見本を持参（手に持てる大きさ）も可能です。

第一次公開審査日（3月9日）10時～17時の来場者の投票によりBE賞を決定します。

全推薦作品の中から、特別賞を決定します。

審査終了後、表彰式と懇親会を行います。

2. 発表

入賞作品は建築設備総合協会発行の「BE 建築設備」誌及びホームページで公表いたします。

また、関連業界紙（建設工業、建設通信、建設産業他）・一般紙・専門誌「新建築」、その他で公表するとともに展示発表会を予定しています。入賞作品の代表者にはEメールで直接、事務局からご連絡いたします。

3. 賞の贈呈

受賞者に対し、賞状と盾を贈呈するものとします。

受賞者は、2016年5月18日に開催予定の（一社）建築設備総合協会定時総会で行う授与式に出席していただきます。

4. 「E&E DESIGN」マークの使用権

第一次公開審査にてノミネート入賞が、第二次公開審査にてノミネート入賞の中から各部門の最優秀賞、優秀賞、入賞、BE賞が決まります。

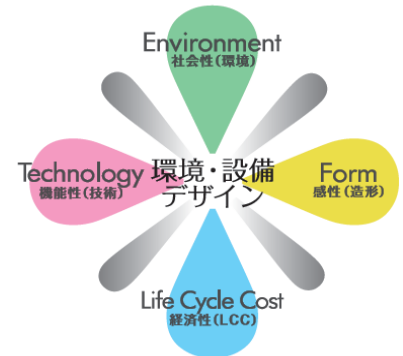
受賞者は使用申請書を提出していただき「E&E DESIGN」マークを使用期間10年間、使用権利料200,000円/1件にて活用することが可能です。

なお、過去に受賞した作品も申請いただければ適用いたします。



評価軸

以下に示す4つの評価軸（感性、機能、社会、経済）に関してバランス良く配慮されていることが必要です。また、評価対象によっては、下記に示した全ての評価項目について評価できない場合があります。この場合は、評価者の判断により評価項目から除外することが出来るものとします。



感性軸

01 審美感	色や形・素材などが美しいと感じられること。
02 調和性	周辺環境、建築計画と一体化し調和していること。
03 独創性	デザインに独創性があること。
04 象徴性	設計者のデザイン意図が象徴的に表現されていること。
05 完成度	美しさや調和の面からデザインの完成度が高いこと。

機能軸

06 機能性	求められる機能が充足されていること。
07 利便性	使いやすく目的に合っていること。
08 効率性	効率性が高いこと。
09 安全性	安全で危険がなく健康にも配慮されていること。
10 先導性	機能面で新たなデザインの方向性を示すこと。

社会軸

11 環境負荷	エネルギーの消費を抑制し地球温暖化防止等に配慮していること。
12 資源消費	資源消費を抑制し、再生材及び再利用可能材を使用していること。
13 地域環境性	地域の歴史や文化を尊重するとともに、地域環境に配慮していること。
14 エバ-ル性	デザインや機能が年齢や性別・国籍を越えて通用すること。
15 先進性	社会的・文化的価値を創出する先進性が認められること。

経済軸

16 初期コスト	機能とコストのバランスが取れていること。
17 ランニングコスト	運用のためのランニングコストが低いこと。
18 維持管理性	維持管理が容易であること。
19 耐久性・更新性	耐久性・更新性に配慮されていること。
20 LCC	総合的にライフサイクルコストを抑制できること。

(E&E DESIGN マーク：商標登録第 5590184 号/第 5600112 号/第 5602866 号)

実施概要

タイトル	第14回環境・設備デザイン賞
主催	一般社団法人 建築設備総合協会 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 6階 TEL:03-5445-4266 FAX:03-5445-4272 e-mail: LEMO4305@nifty.ne.jp 「環境・設備デザイン賞」実行委員会 実行委員長 石福 昭 (一社) 建築設備総合協会名誉会長
趣旨	建築における環境・設備技術の役割は一段とその重みを増しており、建築のデザインに対して、設備機器や設備システムのデザインが大きく関与していることが明らかとなっています。環境・設備デザインに的確な評価が広く一般社会に公開され、認知されることが望ましいと考えます。そのために優秀な「環境・設備デザイン」に対して賞を贈って表彰することを趣旨とします。
部門構成	I. 設備器具・システムデザイン部門 II. 建築・設備統合デザイン部門 III. 環境デザイン部門
賞構成	最優秀賞／優秀賞／入賞／BE賞／特別賞／奨励賞
審査委員長	古谷 誠章 (早稲田大学 理工学術院建築学科教授)
審査委員 (アウイ順)	秋元 孝之 (芝浦工業大学 工学部 建築工学科教授) 戸恒 浩人 (シリウス ライティング オフィス 代表取締役、照明デザイナー) 永山 祐子 (永山祐子建築設計 代表、昭和女子大学非常勤講師) 野原 文男 (㈱日建設 取締役常務 エンジニアリング部門副統括) 長谷川浩己 (オンサイト計画設計事務所㈱ 代表取締役、 武蔵野美術大学建築学科教授) 谷 潤一 (TOTO㈱ デザイン本部 プロダクトデザイン部 部長) 藤江 和子 (㈱藤江和子アトリエ デザイナー・代表取締役、多摩美術大学 美術学部環境デザイン学科 客員教授) 山下 保博 (アトリエ・天工人 代表)
日程	■平成27年 8月1日 応募要項を建築設備総合協会ホームページで発表 10月1日 応募登録申込み受付開始 11月20日 応募登録締切り 12月18日 環境・設備デザイン説明パネル及び評価書の提出締切り ■平成28年 3月9日 第一次審査〔公開審査〕入賞作品／プレゼン対象作品を決定 4月15日 第二次審査〔プレゼンによる公開審査〕最優秀賞／優秀賞／ 入賞／BE賞／特別賞を決定、表彰式、懇親会 5月18日 授与式
後援	東京都 (一社) 日本建築学会 (公社) 空気調和・衛生工学会 (一社) 電気設備学会 (一社) 建築設備技術者協会 (一社) 照明学会 (一社) 不動産協会 日経アーキテクチュア (株) 新建築社 (株) 日刊建設工業新聞社 (株) 日刊建設産業新聞社 (株) 日刊建設通信新聞社
作品公開	各報道機関 当協会機関誌「BE 建築設備」「作品報告書」 「新建築」 企業・学校展示等 建築設備総合協会ホームページ http://abee.or.jp

